

有限会社大伸ステンレス

医療器業界向けステンレス素材の 「歪みレス及び高精度溶接技術」を確立する

極薄素材の溶接技術を確立し、新規分野（医療機器）での受注拡大。

事業取組みの経緯

当社は昭和43年創業、現社長・酒井志津香氏が2代目である。創業より各機械部品製造業者向けのステンレス加工を得意として展開、特に溶接技術は認められ食品製造機械の分野において実績を残してきた。しかし、現状の設備では0.8mm以下のステンレス加工の際、熱による歪みが発生、表面の微細な傷が残ることが課題となっていたため、より高品質・高精度を求められる医療機器向けの加工が出来ない状況であった。そのため、幅広い受注を獲得するため設備投資を計画した。

実施内容

ステンレス加工における歪みレスを克服するため「ロボットアーム型」と比較し汎用性に優れ、小ロット溶接にも簡単に対応出来る「ファイバーレーザーハンディ溶接機」を購入した。

導入した「ファイバーレーザーハンディ溶接機」は、0.5mmステンレスも殆ど歪みなく溶接が可能、狭いビート幅と深い溶け込みの溶接を実現出来る様になった。また溶接面が綺麗に仕上がることでステンレス本来の輝きと耐食性が保たれ、後処理での傷跡から雑菌が繁殖することを防ぐことが可能になり、品質管理で付加価値をつけ価格競争に巻き込まれなくなる。作業工程を大幅に減らすことによって、高品質・短期納期でいつでも安定した製品を提供できる。



事業取組みの成果

これまでは歪みを無くするための治具製作やガス充てに時間を要し、また溶接部の黒く酸化した箇所を除く作業が必要であった。しかし、「ファイバーレーザーハンディ溶接機」の導入によりこれらが解消、時間の短縮に加え綺麗な仕上がりにより同業他社との差別化が図られた。これにより極薄素材の加工が必要である医療器具向けの受注獲得に繋がり、売上増加に繋がった。

●医療機器向けの製品



今後の活動予定

医療機器など新規分野の開拓の他、今後はこれまで得意としてきた食品機器の分野においても、技術向上により更なる得意先開拓に注力すると同時に、受注体制を強化するため技術者（人材）育成を行う方針である。人手不足が叫ばれる中、ベトナム人（研修生）の受け入れにも積極的に行っており、取引先と共に成長し社会貢献を目指している。

●ファイバーレーザーハンディ溶接機



有限会社大伸ステンレス

- 代表者／代表取締役 酒井 志津香
- 本社住所／〒792-0893 愛媛県新居浜市多喜浜6-5-8
- TEL／0897-46-2388 ■FAX／0897-46-1239
- URL／<http://ww8.tiki.ne.jp/~taishin/taishin/>
- メール（代表）／taishin@mx8.tiki.ne.jp
- 設立年月日／1974年11月
- 資本金額／300万円
- 従業員数／14名
- 業 種／各種機械・機器部品の製造加工
- 事業拠点／本社工場 愛媛県新居浜市多喜浜6-5-8

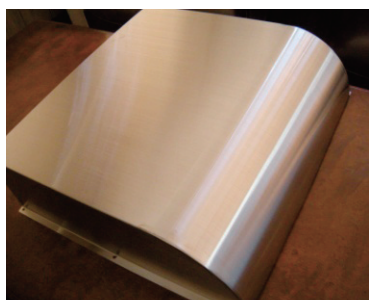
企業概要

ステンレス板金加工に特化し難易度の高い溶接技術を取得、「短期納期」「品質向上」「適正価格の提示」で各顧客に対応、様々なニーズに対応出来る一貫した受注体制を整えている。

主要取引先

藤岡製作所、アール、四国加工機、東レ、マルヤス

主要商品



1個からの試作・自動車関連部品・食品業種から薬品・生活雑貨分野・看板・デザイナーズ商品・その他ご要望に応じて各種包装機の精密部品

主要設備

ファイバーレーザーハンディ溶接機、ハイブリッドドライブベンダー、レーザー加工機、工程統合マシン、プレスブレーキ他

担当者	代表取締役社長 酒井 志津香
連絡先	0897-46-2388
連絡先E-mail	taishin@mx8.tiki.ne.jp